

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 12 月 27 日 (2007.12.27)

【公表番号】特表 2003-513137 (P2003-513137A)
 【公表日】平成 15 年 4 月 8 日 (2003.4.8)
 【出願番号】特願 2001-533905 (P2001-533905)
 【国際特許分類】

C 0 9 B 67/20 (2006.01)
B 4 1 M 5/00 (2006.01)
C 0 9 B 67/04 (2006.01)
C 0 9 B 69/00 (2006.01)
B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

C 0 9 B 67/20 A
 B 4 1 M 5/00 E
 C 0 9 B 67/04
 C 0 9 B 69/00 A
 B 4 1 J 3/04 1 0 1 Y

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 10 月 25 日 (2007.10.25)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 少なくとも一種の処理剤と着色顔料の少なくとも一種を混ぜて混合物を形成する工程と、前記混合物を高剪断に供する工程と、反応生成物が生成するとともに前記反応生成物が表面修飾着色顔料を含有するように、前記高剪断が起きている間の時間の少なくとも一部にわたって前記混合物に少なくとも一種のジアゾ化剤を導入する工程とを含む表面修飾着色顔料を製造する方法。

【請求項 2】 前記高剪断は流体力学的キャビテーションによって起きる請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】 前記高剪断は $5,000 \text{ psi} \sim 50,000 \text{ psi}$ ($34500 \text{ kPa} \sim 345000 \text{ kPa}$) の運転圧力下での流体力学的キャビテーションによって起きる請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】 前記流体力学的キャビテーションは、前記混合物を直径 0.01 インチ (0.25 mm) 以下のオリフィスに通すことにより起きる請求項 2 に記載の方法。

【請求項 5】 前記混合物を前記流体力学的キャビテーションに一回以上供する請求項 2 に記載の方法。

【請求項 6】 反応生成物が生成するとともに前記反応生成物が表面修飾着色顔料を含有するように、少なくとも一種の処理剤、着色顔料の少なくとも一種および少なくとも一種のジアゾ化剤をいかなる順序においても高剪断に供することを含む表面修飾着色顔料を製造する方法。

【請求項 7】 前記高剪断は流体力学的キャビテーションによって起きる請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】 前記高剪断は $5,000 \text{ psi} \sim 50,000 \text{ psi}$ ($34500 \text{ kPa} \sim 345000 \text{ kPa}$) の運転圧力下での流体力学的キャビテーションによって起きる請求項 7 に記載の方法。

る請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】 前記流体力学的キャビテーションは、前記混合物を直径 0 . 0 1 インチ (0 . 2 5 mm) 以下のオリフィスに通すことにより起きる請求項 7 に記載の方法。

【請求項 1 0】 前記混合物を前記流体力学的キャビテーションに一回以上供する請求項 7 に記載の方法。